

令和7年度 第1回富田林市金剛地区再生指針推進協議会 会議録

富田林市 まちづくり部 金剛地区再生室

日 時： 令和7年7月11日（金） 10時～12時

場 所： すばるホール4F 会議室（旧秀月の間）

委 員：出席者13名

増田 昇（会長）、中井 二郎（副会長）、友田 研也、新里 恵美、吉村 明、
小野 達也、廣崎 祥子、加茂 賢一、松本 新、大山 美里、岩田 佳余子、
竹田 晃、森木 和幸

欠席者4名

溝口 俊則、喜多 忠、市川 智久、占部 訓司

事 務 局：4名

【富田林市 まちづくり部 金剛地区再生室】

塚本 隆之（室長）、松本 憲昌（室長代理）、竹川 智也（主査）、盛田 大輝

2名（コンサルタント）

【特定非営利活動法人きんきうえぶ】 寺田 誠、妹尾 美千代

会長が認める関係者（設置要綱第5条第4項）：0名

傍 聴 人：0名

会議次第：1. 開会

2. 案件

（1）委員紹介

（2）金剛地区再生指針の進捗について（令和6年度）

（3）金剛地区再生指針の取組予定について（令和7年度）

①まちづくり会議・運営会議の運営について

②各部会・プロジェクト等の取組について

③市が進める取組について

3. その他

4. 閉会

開催形態：公開

会 議 録：全文筆記

1. 開会

(事務局：塚本)

- ・開会、議事進行にかかる留意事項の確認等
- ・資料の確認
- ・委員紹介
- ・設置要綱第5条第2項により協議会が成立していることを報告

2. 議事

(増田会長)

改めましておはようございます。本日の次第としましては、金剛地区再生指針の進捗状況について、金剛地区再生指針の取組予定についてと大きく2つございます。それではまず、案件(2)の金剛地区再生指針の進捗についてご報告をいただいて少し質疑を行いたいと思います。それでは説明をよろしくお願いいたします。

(事務局：盛田)

事務局より資料2-1「金剛地区再生指針の進捗について」について説明。

資料2-2の詳細資料については、各自でご確認いただきまして、お気づきの点などございましたら、個別に事務局までご連絡いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(増田会長)

ありがとうございました。ただいま資料2-1を用いて、金剛地区再生指針の進捗についてということで、令和6年度の進捗報告をいただきました。何か質問ございますでしょうか。

(友田委員)

2【多様な「住まい」の供給・流通の促進】のところで、空き家バンクのことやリノベーションのことが書かれているがどのくらい進捗していたり、どのくらい成立していたり、どう取り組んでいくのかももう少し見える化してもらって、割と大事なところなので、取組の評価みたいなのところもご検討いただけたらと。今日はこれで良いけれども、どんどん見える化していってもらえたらと思います。

(増田会長)

いま答えられる数値はございますか。例えば空き家バンクの登録はどのくらい借りているのかや、URさんと一緒にしている魅力的なリノベーション住戸は今年度どのくらいの供給件数などのデータはございますか。

(事務局：盛田)

空き家バンクの制度の運用のところに关してなんですけれども、現在登録事業者としましては21件。成約したのは金剛地区では1件と昨年度はなっております。

(増田会長)

これは市全体のデータであり、その中で金剛地区としては1件ということですね。あとリノベーションはどうでしょう。

(事務局：盛田)

リノベーションに関しまして、市で詳細な件数のデータというのは保有していません。

(増田会長)

URさん何かわかりますか。

(加茂委員)

現在詳細な数字はわかりかねます。

(増田会長)

そうですか。実際は供給されてるんですか。

(加茂委員)

空き室があれば随時供給しております。

(増田会長)

リノベーションはDIYでされるんですかそれとも、泉北ニュータウンは無印と連携してますけど、そういったことは金剛ではされていないですか。

(加茂委員)

空室の工事の話になりますが、金剛でもあります。

(増田会長)

やっぱり新しいニーズに適合した住宅を供給するというのが非常に大事だと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。他はいかがでしょう。資料2-2の関係で質問があれば後程でも質問いただければと思ひます。金剛地区再生指針の取組について、令和7年度どういう形で展開していくのかということで、話を進めたいと思ひます。まちづくり会議・運営会議の運営についてというのと、各部会からのプロジェクト等の取組、市が進める取組を順次説明いただいた後、意見交換をしたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

(事務局：寺田)

資料3-①「まちづくり会議・運営会議の運営について」について説明

(廣崎委員)

資料3-②-1「各部会・プロジェクト等の取組について（わっく Café）」について説明

(事務局：寺田)

資料３－②－２「各部会・プロジェクト等の取組について（金剛マルシェ）」について説明
(友田委員)

資料３－②－３「寺池公園等を活かしたまちづくりの会」について説明
(事務局：妹尾)

資料３－②－４「∞KONROOM」について説明
(事務局：盛田)

資料３－③－１「市が進める取組について（ParkDay2025）」について説明

資料３－③－２「市が進める取組について（大学連携）」について説明
(事務局：竹川)

資料３－③－３「市が進める取組について（ウォーカブル）」について説明

資料３－③－４「市が進める取組について（金剛中央公園・多機能複合施設等整備運営事業）」について説明

(増田会長)

ありがとうございます。２番目の令和７年度の取組予定ということで、大きく３つ報告いただきました。前から順番に少し意見交換をしたいと思います。まずまちづくり会議について、何かお気づきの点、あるいは、提言等ありましたらいかがでしょうか。

(新里委員)

まちづくり会議について、オープンチャットの件をかなり報告いただいたと思うんですけども、以前からあったんですが、オープンチャットの使い方が、個人と個人とのやりとりでオープンチャットの意味をなしていたのかなと疑問視されて、それを反省されて、見直しをされるようなんですけども、やっぱり責任者がきちんと使い方を間違ってる人には、やっぱり言うべきじゃないかな。私も入ってましたけども、結局もう、見るのも嫌で出てしまったっていうのがある。

だからそういうことがないように、きちんと管理をしていただきたいと思います。

(増田委員)

はい。事務局これに対してご回答ございますか。

(事務局：寺田)

はい、ありがとうございます。オープンチャットに関して、今で言うと５０名弱の方が情報を見える環境にあります。個人の方から金剛地区に関する情報が、継続的に発信されているので、プラットフォームとしての役割と、線引きが難しいと思っています。改めて、このオープンチャットの目的であったり使い方っていうところの発信を、人数も増えてきているので、きちんとこういう使い方絶対してくださいというのはプラットフォームとしては少し難しいと思うんですけども、一定のルールであったりとかは再度発信させていただきたいなと思います。

やはり個人の方の投稿が目立ってしまうのは、それ以外の方の投稿がやっぱり少ないっていうのもあると思うので、もっといろんな方にも投稿してもらえるような、オープンチャットにしたいと

いうふうに考えています。

(増田会長)

ありがとうございます。これは多分SNS上の問題で、言論の自由と、もう一つは要するに誹謗中傷みたいなやつをどうスクリーニングするかが非常に微妙なところなんですけども、やはりある一定のルールは周知をして、誹謗中傷とかデマに関わるような情報が削除できるような、そういうルールは考えないといけないと思うんですけどね。難しいところですけどもXなんかでもそうですし、様々な同様の課題を持ってるんだと思うんですけど。

まちづくり会議は、本来の意味は情報交換と同時に、そこから新しい活動が生み出されるというのが一つの大きな目的で、行動起点である。例えばまちづくり会議で年間1個か2個新しい活動を生み出しませんかみたいな目標設定できないですかね。あるいはそれに対して、少しスタートアップ資金的なものを準備してやっていくようなことですね。そうすると情報交流ばかりではなくて新しい活動がどんどん生み出されていきますっていうのが、当初からの目的だったので、そんなことを少し考えたらどうかなと思いますけどね。

(事務局：寺田)

今年度でいうとアウトプットの機会へ繋げるため、新しい活動であったりアイデアの共有というところで、まちづくりラボという形でKONROOMでまちづくりに関するセミナーを定期で開催してるんですけども、参加者を見てると今までまちづくり会議に参加していなかった方が多いので、そのまちづくりラボに参加していただいている方に、次のアウトプットの議会としてのまちづくり会議に参加してもらうという、と今年度考えています。

先生がおっしゃってくださったように年間1個か2個、新しい活動を生み出していこうという目標を立てた上で、スタートアップの支援とかそういうのも考えていこうかなと思います。

(増田会長)

年間1個か2個ぐらい「この指止まれ」的な活動を提案いただいて、それで賛同できた方がグループとして活動スタートして、1年ないし2年のスタートアップの支援をするような仕組みができると、まちづくり会議も行動起点として成立していくと思いますので、その辺り考えていただいたら面白いと思います。

(新里委員)

増田会長が言われた通り、新しいものを見つけていく方向性が重要だと思うんですね。それでいくと、以前はやっぱり居場所の部会であったり、防災部会だったりあったものが今全くそれが機能していないんですね。それで居場所としては、わっく café がすごく良い形で出来上がっているんですけども、居場所がここだけでいいのかというところで、やっぱり新しい居場所を生み出して欲しいなと思います。

(増田会長)

例えば、わっく café 以外の新しい居場所づくりを考える人が、「この指止まれ」みたいなお声掛

けいただけるような形が1つでもでてくると、そこで検討がスタートしていくのだと思います。是非ともそういう新しい行動起点という取組を是非ともやっていただければと思います。まちづくり会議について他はいかがでしょうか。なければ次に進みます。各部会からの報告ということで、非常に充実した報告をいただきましたけれども、まずわっく café に関してはなにかございますでしょうか。

(新里委員)

わっく café は割と賑わっているんですけども銀座商店街の平日昼間が閑散としているというところで、わっく café に出店している方が虹いろサロンにもの売りに来たりしている。それは全然連携という形でいいと思うのですが、銀座街をもうちょっと賑わいを取り戻したいということを考えております。土曜日に、カレー食堂をやったり、マルシェをやっている時は、あれだけの人たちがやってくるのですが、平日の昼間は閑散としているので、みんなの力でなにか賑わいができたらと考えています。

(増田会長)

ありがとうございます。わっく café は非常に充実していると思います。マルシェの件になるかもしれませんが、野菜は2週間くらいは冷蔵庫で持つので、月に1回の土曜日というよりも、やはり2回くらいあると、買い物の機会として充実させていけるような関わりができてくるので、面白いなと思います。

わっく café の説明会とかオーナーの交流会って非常に、新たな展開をするのに、ものすごく有効だと思うんですね。そのあたりから、いろんなところへ、飛び出していくようなオーナーがどんどん出てくるとおもしろいと思うんですけどね。

(中井副会長)

銀座商店街が耐震補強中でして、新たな店の参加者を募集していないので、工事が終わって募集をかけていけば店も増えてもう少しにぎわうと思う。その間マルシェとわっく café がやっているイベントでつないでいるようなイメージなので、早く募集できるようにURもしてほしいと思う。

(加茂委員)

広場に関してのスケジュールは把握できているが、耐震の方は把握できていないです。広場整備完了後、広場をどう使っていくのかを含めて盛り上げていけるようにしていきたいと考えています。

(中井副会長)

広場の整備は来年の9月に完了と聞いてますけども、それまでは、耐震が終わっても、新たな事業者は募集しないということですか。

(加茂委員)

そういうわけではないですが、広場は工事中になりますが賑わいはもたせていきたいと考えています。

(増田会長)

金剛中央公園もそうなんですけど、昔と違って、工事完了してから活動発生さそうというのが遅いですね。だから、工事期間中にいろんなトライアル、どんどんやるということ。グラングリーン大阪ですら4.5年いろんなトライアルを継続して、やっと半分まちびらきした。事前の活動をやっておくと、まち開きと同時にいろんな活動がスタートすることになり、従来みたいに工事期間中は仮囲いをして何もせずに、工事完了してから活動しましょうかでは遅いんですね。

その点については、URもそうですし市の方も、工事を期間中の活動誘発をどう考えるのかと。それが非常に重要になってくると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

(友田委員)

地域の住民にどのように貸し出していくのか、使っていくのかというのは使用のルールも作っていかないと思いますが、それも実験をして課題などを出してよいものを作ってもらいたい。

(加茂委員)

自治会さんや住民の方とも話を一緒に考えていきたいと思っています。

(増田会長)

わっく café について子ども食堂は子供が、今までゲストだったのにホストとしての役割を果たすとか、非常にいい方向へ動いてるんだろうと思いますし、寄付行為なんかもいろんなところとコラボレーションできているということが非常にいいことかと思います。うまく広報頂いてさらに応援団をどう増やしていくのか考えていただければと思います。あと見学会の視察とかは、小学校などからは有料でできないでしょうけど、今、視察はどうされてるんですか。

(廣崎委員)

無料でしています。

(増田会長)

かなりの時間、準備がかかるので、視察の料金設定をしたらいいと思いますが。

(廣崎委員)

お食事を食べていただくようにしています。私たち、運営側にはメリットないですけど、出店されている方には、売り上げになります。

(増田会長)

もっとダイレクトに料金をとっていいと思います。結構視察有料していることもあります。泉北ラボでは有料化しており、国や議員の視察もすべて有料でしている。時間は取られるのにメリットがないので、そういった時代だと思います。市も他の事業者や自治体から視察紹介するときに運営として有料で受けていると紹介していくべきだと思います。大阪府立大学で植物工場研究センター

長を6年間しており、今はアドバイザーをしているんですけど、年間150回以上来るのに無料で全部やったんですね。職員がそれに奔走している状況だったので、有料化することによって、所得制限のある110万までの年間の費用で1人スタッフを雇用して、今もそれで継続している。1回1人2000円、海外の方は2500円と設定している。そこまでいなくてもよいが、一定の時間がとられるのですね、少し考えてもいいと思うんですけど。

もう一つは、交流会のときの皆さま方の、どういうご要望があったりとか、どういう喜びを感じてやられてるのかということと、これをさらに継続しようと思ったら、どんな課題お持ちなんかみたいもの少しまとめていただけると、いろんな参考になると思うんですけども。ちょっと手間かもしれませんが、交流会された後、フリーペーパーでもいいので渡して、やりがいを感じていることや、今後継続するための課題みたいなものと、1行でもいいから書いてもらうみたいなことをやっていただけると、この活動の参考になるのでよろしくお願いしたいなと思います。

(中井副会長)

登録者を増やすことを目的でしていたので、登録した後の人の意見も大事かと思いました。

(増田会長)

泉北の例えばかりを出してしまいますのですが、大蓮公園のLiP (LIFE is PARK) ではタープで出店を毎日入り口でやっているが、小商いだけでなく、クリエイターの方が多いので、今回は1週間ほどアトリエをかりて、クリエイターとしての発表会をしてもらうみたいな企画をしたんですよね。

それを販売につなげてもいいし、ワークショップへつなげてもいいし、自分のやってるクリエイションを皆に知ってもらうみたいなそんなことを企画したんですけども、そんなことも面白いかもしれない。次に金剛マルシェに移りたいとおもいます。何かお気づきの点はございますか。これも実行委員会形式になって充実していると思うんですけども、先ほども言いましたができたら2週間に1回ぐらい開催してもらえると、野菜の買い物が完結できて良いなと思うんですけどね。あとそれと是非とも、富田林の農業を創造する会と連携されてるんですよね。反対に農村部に出かける日を作って欲しいなと思うんですけどね。

(事務局：寺田)

農家さんも畑とかの横に直売所を作ったりと、富田林でも進んでいたりするので、そういったところに遊びに行ったりっていうのも、1つの方法かなとは思います。

(増田会長)

いつもずっと来て出店いただいているんですけど、一度農村部の出かけていくような、そこで庭先マルシェというんですが、各農家の方が少し庭先で直売していただけると、交流から繋がりがうまれていくと思います。他、何かございますでしょうか、よろしいでしょうか。次は、寺池公園等を活かしたまちづくりの会に関してはいかがでしょう。

地域の自治会であったり、PTAを巻き込むことは非常に重要かと思うんですけど、これは具体的に何かお声掛けされてるんですか。

(友田委員)

いろいろお声掛けはしています。例えば校区交流会議と自主防災会であったり地域の方々のキーパーソンを探しながらお声掛けしている。

(増田会長)

現在 90 名会員がいてということで、その 90 名のツテを使ってお声掛けしないとなかなか待っていても人は来ないですからね。

(中井副会長)

ももとの活動拠点は寺池公園なので、寺池台の自治会とはかかわりがあるが、高辺台であったりほかの自治会と関わること難しいので力をいれていかないといけない。自分たちの地域に関係するところがあれば関わることは増えてくると思うので、紹介のあったウォーキングマップをつかって自治会を巻き込んでいかないといけないのかなと。

(増田会長)

イベントをする時の実行会議に顔出してくれませんかみたいなことも一つだと思いますが、プレーパークやりますよとか、パラソルカフェしますよだけではなくて、自分のやりたいことができますよみたいな、何か新しく参加する皆さんと一緒に企画考えませんか、という会議に顔出していただけると良いと思いますけど。

(友田委員)

大阪大谷大学と阪南大学の学生にも参加いただいています、プレーパークの際は皆さんのやりたいことをいくらでもしてもらおう場なのでどんどん提案してもらったら場所は提供しますよとしている。

(増田会長)

そうですね。決まったことに参加してくださいねではなく、一緒にやりたいことをやりましょうというお声掛けが大事だと思います。金剛ニュータウンはウォーキングの会はないですか？泉北ニュータウンは、各駅に毎日 2、3 グループが集まって歩いていますけどね。

(吉村委員)

P 6 の図はグーグルで距離を測りました。やっぱり基本的には金剛駅中心のウォーキングを市の方でおっしゃられて、やっぱりそれはもう駅前の範囲でしかない。高辺台の端っこから見れば、駅も金剛中央公園も非常に遠い。特に高齢化でもあるので遠いに関心がないという声もあり、自治会の方が実は去年の段階では、中央公園も遠くていかないと言っていた。やっぱりそこは発想を変えないといけないなっていうことがありまして、ウォーキングというのをもっと広く考えたい。僕は金剛東の方が実は近く、そこは非常にウォーキングコースが充実していて歩いてる方が非常に多いと。ウォーキンググループがあるのかいうことであれば、寺池台地域は僕知らないですけども、金剛東関係であればそこで集まっておられることは割とあって、ノルディックの団体で 40 人ぐら

いのグループがありまして、その人たちと話をしますと、実は高辺台の丘を越えて狭山や五軒家まで行くとか、そういうことを言っておられますので、歩きたいという人は、結構いろんなところへ行つてね、しかも自然の中であれ、良いルート通って歩きたいことがあります。それでこのコースを一度考えてみた、ということです。例えば寺池まで歩くとか、慣れてくれば、そういうのは非常に楽しいこと。これを作ったときに距離を入れましたので、距離側わかってうれしいお声をこの前聞きました。

こういうものがあれば、みんなやろうというきっかけになると感じている。もう一つはうちの近所のKEN建築工房が、バス停のちょうど前なので、自分の敷地内ですけれどもバス停で待つ方のための待合所とベンチを作られました。そういったまちを発展させたいという思いをもった方々も巻き込んでまちづくりを考えていけるなど、高辺台の方にもそういうことで持っていけば、やっぱりもっと見ていただけるんで、今回の金剛中央公園で防災のイベントをするので、もうちょっとこっちの方にも目向けて、駅の方にも目向けていただければなと思います。みんなで健康づくりやればいいじゃない。非常にいいかなと思う。この点は、今後、広げていけたらいいなと考えます。

(増田会長)

堺市は各保健所が健康づくりのために、ウォーキングの会を登録されてるようなことがあると思うんです。市の保健所に行くで紹介いただけたことがありました。

(事務局：塚本)

富田林市では保険年金課が所管しますが、「あるこうかい」というグループもありますので、複数グループはあると思われます。

(増田会長)

できれば今回お示しのあったマップもそういうところに配布できると良いですね。次にKONROOMに関してはなにかご意見ありますか。利用状況は、倍増、もしくは2.5倍増というふうになっておりますけれども、何かございますでしょうか。

(新里委員)

去年より来場者が増加していると実感しています。KONROOMの前で野菜を売っておりそれを楽しみにされている方もいるが、週に2回しかしていないので、他の空いている日の活用をさせていただけるなら、もっと賑わいができるんじゃないかなというふうに感じてます。

例えばなんですけども、駄菓子屋など子どもたちのお店がないっていうところでは、何かそういう子どもが集まるようなことを考えてみるのはどうかと思いました。

(増田会長)

ありがとうございます。あとKONROOMに関してはいかがでしょうか。ここからまちづくり会議と連携いただいて行動起点になるということ、非常にやっていただきたいなという話ですね。他よろしいでしょうか。ここまでで各部会からの報告ということ報告いただきましたが、全体通して何かご意見ございますか。

(小野委員)

寺池公園の話のところで思ったのですが、私の分野は地域福祉で、何か活動してくださいという形での活動が難しいところがありますが、子ども食堂っていうのは地域福祉の活動の中でも、特に全国的に増えている魅力ある活動です。今は1万箇所くらい設置されており、中学校区に1つくらいあります。なぜ活動が広がったのかという点ですが、活動の魅力に加えて「私もできるかもしれない」という人たちが次々に手を挙げた。もちろん行政のサポートもありますが、寺池公園で取り組んでいるような活動は、今まで活用できていなかったところを綺麗にして水辺も眺められて、そこを使って、プレーパークやパラソルカフェを居心地の良さにも寄与している。こんなことができると、もっと発信していただけないかなと思う。ああすればこんなことができて、みんな居心地がいい場所できるなっていうものを、もう目に見えるものもありますので、もっと発信してもらうことによって、金剛の再生の話でもあります、もっとより広い地域で、こういうやり方もあるというのを周知できれば良いとおもう。わっく café もそうですけどそれが上手くいくことで活動が安定していき、相乗効果は生まれそうだなと感じました。

(増田会長)

箕面で山麓保全の活動をやっている発表会を毎年1回しており、そこでは18グループ参加しており、1グループ3分で各々プレゼンしてもらう。6グループ発表して少し意見交換を繰り返し、2～3時間ですね。5月のフォーラムはどちらかというと、直接まちづくり会議に関わる場所だけの活動の発表でしたけど、市の取組でも出てきますけど大学の取組として複数のゼミが実施しているとかそういうのを全部数え上げると20ぐらい活動があると思うんですね。3分間の発表でも活動内容は結構伝わるんです。そのあと少し交友会なり意見交換会に対するようなことを考えていただけると、それぞれの取組について情報交換ができるのではないかと思います。

(友田委員)

寺池公園等を活かしたまちづくりの会ではホームページを作っています。金剛中央公園でPark Dayをするので、そこでデモ的にプレーパークの出前ができることを宣伝しながら、みなさんに参加いただいて、活動範囲を広げていきたいと考えている。

(新里委員)

小野先生から貴重なご意見ありがとうございます。少し愚痴を言わせていただきたいと思います。実際にパラソルカフェは道具一式全く何もない公園でやるので、年間に多く開催できないという実態がある。道具を置く倉庫が公園にあれば開催増加につながるのではないかと、行政にささやきたいです。

(増田会長)

「ニワトリが先か卵が先か」の話で、活動がかなり活性化したら市も動かざるを得ない、反対に活動を誘発しようと、もっと基礎的な投資設備が要するというような、どっちがニワトリでどっちが卵かということなんですけど、諦めずに活動がより活性化すると、市が動かざるを得ないという状況

があると思います。我慢強くよろしくお願ひしたいと思います。少し時間を経過しておりますけど、市が進める取組について4つ報告をいただきました。何かお気づきの点、まず、ParkDay についてはいかがでしょうか。これもやることが目的ではなくて社会実験ですから、ここから何を獲得しようと思って取り組むのか、そのあたりは明確にしてやらないといけない。もう一つは効果計測をきっちりして、社会実験としての意味合いのようなことがきっちり達成できるかどうか、そのあたりについて、何か市の方からコメントをお願いします。

(事務局：松本)

先生がおっしゃっていただいたイベントをしっかりする意味について、先ほども説明のあった公園活動のモデルケースとなるような目的の企画でして、あと地域と繋がって面的に広がりを持たせる賑わいを持たせるということをテーマとしています。そういった使い方の可能性であったりとか、反対に課題を、見られる部分はあるかと考えます。

(増田委員長)

ウォーカブルもそうなんですね、去年度活動いただいた方々と、今年度、活動いただく方々とはどんな関係になってるんでしょう。

(事務局：塚本)

昨年ご参加いただいた推進チームがたくさんいらっしゃいますが、多くの方が今年度も推進チームにご参画いただけるご意向をいただいております、また新たに今年度から加わりたいというメンバーが入ってますので、その方々とあつれきが生まれないように、しっかりとチームビルドして進めていく予定で考えています。

(増田委員長)

せっかくやっていただいた実験を、全部またゼロベースに戻すのではなく、やはり継続をするということが優先で、プラス、先ほどのまちづくり会議ではないですけど、新しい活動も毎年入って欲しいので、そのような継続物件と、新規物件が、うまく競合をするような相乗効果が出るような形でやっていただける面白いなと思うんですけど。

(吉村委員)。

金剛中央公園の使い方の問題になるかと思いますが、中央公園は借りないと使えないと思っていましたが、そうではなかったみたい。例えば金剛中学校のブラスバンドとか、葛城中学のブラスバンドとか、吹奏楽部とかに声をかけて、一度ここで練習やってくれませんかというような形で、学生さん呼んで、自分たちの活動が出てくるんだみたいなことを、やってもらえませんかってお願いに行ったんですが、その時は葛城中学校に来ていただいて、そこで練習やったということもあった。健康とか賑わいとか考えておられますが、もっと地元の学生とかも使えるような企画も巻き込んでいくと、もっと自由な広いものができるんじゃないかなと考えます。

(増田会長)

先ほども言いました金剛中央公園・多機能複合施設等についての事業期間が令和7年度から令和10年度までの3年間、建設設計期間がありますよね。その間待ってるのではなく、やはり活動を先に誘発するというのが大事だと思います。あとはいかがでしょう。

(友田委員)

金剛中央公園の活動でね、我々、いろいろなイベントをそこで集めてあわせて合同防災訓練をやらそうとしているが、中学校から中学生が訓練にホストとして参加できるような形をつくってもらったら、声もかけやすいし参加もしやすいと意見が出た。ParkDayの仕様を見たら株式会社IKUSAと契約したと記載あるが、IKUSAは防災遊びもされているので、紹介いただけるのであればいただいて中学生も巻き込んでいきたい。

(増田会長)

教育委員会はどうでしょう。教員の方々の労働環境もあって、基本的に時間外に活動できなくなってきたんですよね。時間外活動は全部、地域の運動クラブや音楽クラブなど、地域で面倒を見てもらわないと、課外活動できないというふうな状態にかなり近づいてきて、今までみたいな教育委員会の敷居の高い教育委員会では成立しないというふうな状況になりつつあるんですね。その点は今、市の教育委員会どんな状況なんでしょう。

(事務局：塚本)

聞き及んでいる程度で申し訳ないのですが、クラブ活動については市としても、国から、そういった流れになっていますので、教育委員会でこういった形でやれるか検討を進めているという状況は伺っています。現状のクラブ活動は、クラブ活動指導員を別途雇用されているということはモデル的に実施しているということも伺っていますので、これから本格的にそういった議論は進んでいくのかと考えています。

(増田委員長)

金剛中央公園もそうですが、教育委員会に働きかけるというのはすごく大事で、堺自然ふれあいの森は、毎年公聴会とか教頭会に営業に行くんです、そこでぜひ自然学習に来てくださいということで、小学校94校のうち30校が毎年自然学習に来てくれるので、それを一つの目標にしている。

それともう一つは自然学習みたいな話は、教育委員会非常に苦手です。理科の科目に、アゲハチョウを羽化させる項目があるんですよ。そうするとサナギを飼ってから羽化するまで、どうやって教育するかということは理科の先生も苦手なんです。そういう研修を受けて、受けた先生はそしたら自分のクラスを連れて公園に来てくれる。そういう連携も重要でやっぱり教育委員会は今までみたいな教育委員会でないの、イギリスはもともとそうでしたけど、コミュニティスクールという呼び方をして、地域の中の中核施設として小学校や中学校があるという方向へ、必然的に変わっていかざるをえない状況になっていますので、そのあたりの連携というのは、是非とも考えていただくと良いと思います。

(大山委員)

社協と増進型地域福祉課と進めている、校区交流会議を各小学校区で実施していますが、その中で小学校の先生は絶対参画をいただいています。金剛東の地域にはなりますが、小金台校区では小学校と中学校が同じ校区になるので、中学校の先生も校区交流会議ご理解いただき参画いただいているなかで、地域と学校で活動をもっと一緒にやっという流れが強くなっていると実感しています。金剛地域の校長先生方も、各小学校区の校区交流会議に参画していただいている中では、いろいろな地域活動には協力的な印象を受けるので、多分連携とっていけば、以前のような敷居の高さはなくなっていると感じます。

（増田会長）

ニュータウン再生でお手伝いしている地区の中に、元気な女性が1人いて、子ども食堂を小学校の食堂をかりてやるということにチャレンジするっていうので、1校で達成し、近隣に6校あるが、自分が元気うちに6校とも、子ども食堂を小学校の食堂を使ってやりたいというような活動へつなげてくれてる方がいらっしゃるんです。そういうのも1つで、小学校、中学校は非常に大きな、活動拠点だと思うんですね。今までどちらかというとアンタッチャブルみたいないところがあったんですが、ほか、よろしいでしょうか。

（新里委員）

ウォーカブルな空間づくりについてというところなのですけども、去年社会実験をされて反省なり課題が出たと思われるんですね。その内容について私は知らないですが、実際に金剛駅のすぐそばの第3住宅に住んでますので、申し訳ないんですが住んでいる人たちが全然盛り上がってなかったんですね。この第3住宅第2住宅に住んでる方っていうのは結構高齢者が多いんですね。そうするとチラシがね、わかりやすいかわかりにくい、これ、すごい大きいと思うんですね。だから実際に金剛駅周辺の住宅に住んでる方々が、盛り上がる形で持っていくべきだと思う。私も今回推進チームに入らせていただいていますので、その辺ちょっとしっかり見ていこうかなと思っています。よろしくお願いします。

（増田会長）

これは利用者だけではなくて、周辺居住者への効果計測とか、アンケート調査もされてるんですか。

（事務局：松本）

はい。しています。今新里委員がおっしゃっていただいたところは非常に大事かと考えていて、地域への需要があった上で、この取組は成り立つのかなとは思っておりまして、その中でチラシとかのところでしっかりと発信していくのがまず大事なことで認識しています。今回は社会実験、いわゆるイベントという形で実施して、社会実験の後という、すっきりいつも通りの風景変わってしまう。というところで、やっぱりこういう場所、この場所がこういうふうに変わっていくんだ、ということをしつかり継続的に発信していくことが大事なかなと思っています、今回説明ありましたトライアル実施に関しても、社会実験終わってからの余韻部分をしっかりと持たせたいために実施するものでありまして、そういったところを、うまくこの協議会でもしっかりと伝えていきたいな

と思います。

(増田委員長)

ありがとうございます。あとは何かございますでしょうか。

(友田委員)

金剛で社会実験した後に、大阪狭山市も駅前で社会実験したじゃないですか。せっかく大阪狭山市も動き始めているので、もうすこし連携しながら一緒にやるとか検討していただきたいし、いまのビジョンでつくられたパースもありますけども、金剛駅のところは抜けているんですよ。ビジョン作ったのもこれで書いて何年もおいておくのではなしに、毎年毎年書き換えたり社会実験で反省があれば書き加えていくとか、大阪狭山市とも連携したいのであれば、大阪狭山市のところもビジョンを描くとか、どんどん更新もして良いものを作っていただきたい、そういった連携ももっとしていただきたい。金剛中央公園についても、今建物の連携は書かれていないけれども、いかに建物を使いながらアイレベルのまちや公園を作っていくかというのが大事なので、こういったこともどんどん金剛中央公園のビジョンもできていくでしょうから踏まえていくというかたちで、常に更新していくくらいの意識を持ってもらった方がいいかなと、私は思います。

(増田委員長)

よろしいでしょうかね。

(新里委員)

もう一つ。南海電鉄と大阪狭山市と富田林市が令和7年4月に金剛駅を中心としたまちづくり検討調査報告書がホームページにアップされているんですね。これ金剛再生と繋がっているんですか。

(事務局：塚本)

金剛再生と繋がっているのかといわれると、わかりにくいところもありますが、南海電鉄と大阪狭山市と当然我々としても金剛駅は主要な駅になっていますので、駅前のまちづくりがどうあるべきかということを昨年度共同検討みたいなことを行いまして、その結果まとめたものが新里委員からご紹介のあった調査報告書となっております。今後はその報告書の内容に基づいて、具体的に何ができるのかとか、どうすれば実現できるのかというあたりを、今年度さらに深掘した議論を進めていますので、また議論が整って皆さんお示しできるタイミングになりましたら、お示しいたします。

(増田委員長)

松本委員なにかございますかね。

(松本委員)

今事務局が言っていた通りになるんですけれども、昨年度から大阪狭山市と富田林市とコミュニケーションをとって金剛駅周辺をどういう風にしていくのかについて検討していますので、

また公表できるようになりましたら、お伝えいたします。

(新里委員)

本腰を入れてやっていただきたいと思います。

(松本委員)

我々の中期経営計画のなかに重点エリアの駅として金剛駅を設定していますので、我々も力を入れてやっていきたいと考えています。

(吉村委員)

僕も実は読んだんですけれども、南海の人が中心かなという感じで、線路でのつながりというのはすごく考えられるなと思っていたんですが、僕ら高辺台とかから言いますと、やっぱりバスがいろいろ問題になっているのでバス路線をもうちょっと考えていかないと、僕らは駅に行くだけが大変だという意識があるので、電車だけでなく広い観点で考えてほしいと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

(増田委員長)

バスと鉄道のシームレス化みたいな話は検討されてないんですか。

(松本委員)

乗り継ぎしやすいような環境にはしたいと思っています。

(増田委員長)

竹田委員なにかございますか。

(竹田委員)

いろいろな内容お聞かせいただきありがとうございます。今お聞かせいただいた内容について直接都市計画局が何かできるという取組ではございませんでしたけれども、泉北ニュータウン・千里ニュータウンについても、まちづくり方針について大きな課題として取り組んでいます。その中で他府県とかについても同じようにニュータウンの課題について取り組んでいます。内容的にはニュータウンをどうしていくのかという大きな話にはなりますが、詳細になっていくと地域のまちづくりというところも上がってくるかと思います。そういったところで他府県の情報とか、場合によっては大阪府内での取組をご紹介しますっていうことはできるかと思います。ただ現地に見に行きたいという話になったときに、先ほどあった有料化の話になると、役所の中で出張とかで見学に行くのはどういった対応ができるかという話も出てくるかもしれません。しかし一定情報の提供はできるかと考えています。

(増田委員長)

ありがとうございます。最後小野委員全体を通してなにかございますか。

(小野委員)

それぞれが1年でこれくらい変わってくるのかと感じまして、また継続的にやっていく事の強みや新しい人が関わって新しい活動をビルドしていくというのが、まさに今日ある程度見え始めた段階かなと思いました。

(増田委員長)

他はいかがでしょう、全体通してなにかございますか。

(新里委員)

伏山台校区福祉委員会の活動の居場所づくりというところで、URの集会所を借りて実施させていただいているのですが、実は福祉委員会がURの集会所を借りるのには6~7,000円という高額なお金がかかってしまうんです。URの住民の方が借りると1時間200円ということで、実は住民の方に借りていただいて福祉委員会が実施している状況なんです。行政にも地域住民活動というところで、URと行政とお話ししていただくよう、市ともお話をしましたが全く話が来ないんですね。なのでいまだにURの住民の方に集会所を借りていただいている状況が続いているので、是非とも地域活動に対して行政と相談いただいて賃料を見直していただいたら、福祉委員会が借りてできるのでお願いしたいと思います。

(増田会長)

ご提案のようなお話ですので、ご回答いただかなくてもいいかと思います。

(加茂委員)

途中でも少しお話ししましたので繰り返しになろうかと思いますが、簡単にお話しさせていただきます。広場整備に関しましては、今月から来年の9月の工期で予定しています。工事の進め方としてはピュア金剛跡の仮囲い設置しているエリアから近々工事を着工してまいります。現在の広場の中庭エリアにつきましては、9月中旬くらいから仮囲いを行いまして、順次工事していきます。先ほどのマルシェのお話もございましたが、8月のマルシェ開催までは中庭も含めて実施していただくことは可能です。9月以降は中庭の工事がはじまるため、マルシェに関しては範囲が限定されることとなりますが、207号棟のピロティでは引き続きマルシェを開催頂くことも可能です。マルシェとは調整しながら工事進めていきたいと思いますが、ご不便をおかけして申し訳ないんですが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(増田委員長)

はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。私の方でお預かりした意見交換の内容は、すべては終わったかと思うので、事務局に進行お返しします。皆さんご協力ありがとうございました。前向きの議論をどんどんしたいと思うので、これからもよろしくお願いいたします。

(事務局：塚本)

本日は金剛地区の再生、活性化に向けまして活発なご議論と、またアドバイスをいただきましてありがとうございました。また増田会長におかれましては、円滑に議事を進行していただきまして、本当にありがとうございます。それでは本日の会議を終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。